

「コシヒカリ」等の適期刈取りについて

「コシヒカリ」等の中生品種については、梅雨明け以降の高温の影響などから、近年より5日程度早く成熟期を迎えると見込まれます。

早期の落水や刈遅れなどによる胴割米等の発生を防止するため、次の事項について指導を徹底願います。

1 胴割米等の発生防止に向け、適期刈取りを徹底する。

- ・ 7月31日に出穂した「コシヒカリ」の刈取始期の目安は9月2日頃と見込まれる。籾黄化率80%（積算気温950℃程度）から刈取りを開始し、刈遅れによる胴割米の発生を防ぐ。特に、葉色が淡いほ場や枯れ上がりの早いほ場は、早めに刈り取る。
- ・ 早めにはほ場を巡回し、籾黄化率を確認のうえ、刈取適期を把握するとともに、刈取表示板や特報等により、農業者に的確に伝達する。
- ・ 今後も気温が高く推移し、刈取適期が短くなることが見込まれるため、収穫や乾燥能力を考慮した作業計画を策定し、刈遅れによる胴割米の発生を防ぐ。

表 「コシヒカリ」の刈取始期の目安

田植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	(籾黄化率) (積算気温)	80% 約950℃
5月10日	7月29日		8月31日頃
5月15日	7月31日		9月2日頃
5月20日	8月2日		9月4日頃

注) 表中の月日は、8/21以降の平年値を用いて予測した

- ・ 出穂後の平均気温は、平年に比べて約3℃高く推移しています
- ・ **今後、平年値+2℃で推移すると、刈取始期（籾黄化率80%）がさらに1日早くなる**と見込まれます

- ### 2 出穂20日後から刈取り5～7日前まで間断かん水を確実に実施し、稲体活力の維持に努める。
- また、フェーンの発生が予想される場合は、可能な限り事前に入水を行う。なお、入水の際は、用水の下流域まで十分に水が行き渡るよう配慮する。
- ### 3 乾燥は2～3時間の通風を行った後、乾燥機の設定に従い、乾燥速度を毎時0.6%以内に抑え、胴割米や過乾燥米の発生を防ぐ。
- 特に、乾燥時の気温が高く、湿度が低い場合は、随時籾の水分を確認し、通風のみの乾燥とする等、乾燥速度が速くなり過ぎないように注意する。